

った。
「GLP流山Ⅱ」は地上4階建て、延床面積約9万6000平方メートルで、都心から約25キロメートル、常磐自動車道「流山」ICから約0.5キロメートル、国道16号線にもアクセス良好で、東武野田線「初石」駅から約1.8キロメートルに立地する。
3棟から成る総延床面積約32万平方メートル、投資総額約590億円のGLP最大のプロジェクト「GLP流山」では、9月に「GLP流山Ⅰ」は着工済みで「GLP流山Ⅲ」は2017年秋頃に着工予定。

エスコット／トレッドシフト

「物流環境改善プラットフォーム」の開発で協業

グローバル・コンテナ・マッチングシステムをバージョンアップ

NPO法人のエスコット（藤本治生理事長）は、ビジネスソーシャルプラットフォームトレッドシフトとの協業により「物流環境改善プラットフォーム」を開発する。エスコットが運営する国際海上コンテナ輸送を対象とした「Global Container Matching system（グローバル・コンテナ・マッチングシステム）」をトレッドシフトのオープンネットワークを活用した物流業界の総合プラットフォームにバージョンアップさせる計画だ。2020年以降の地球温暖化対策の国際ルールである「パリ協定」に日本も批准しており、エスコットでは同プラットフォーム

▼GLP、グローバル3PL企業と契約
グローバル・ロジスティック・プロパティーズ・リミテッド（GLP）は、日本、中国、米国、ブラジルにおいて、グローバルな3PL企業各社と20万4000平方メートルの新規および契約更改の賃貸借契約を締結した。この契約により、日立物流、DHL、Schenker、AGV Logisticsを含む既存顧客との関係を強化。これらの企業は、医薬品、自動車部品、日用消費財などの業界からの需要に対応するため、GLPの物流施設を国内配送に活用する予定。

フォームの普及を通じて物流分野の温室効果ガス削減を推進する。
エスコットの「グローバル・コンテナ・マッチングシステム」を拡張する形でオープンネットワークの構築を目指す。輸出入コンテナのマッチング、動静確認に加え、見積りや請求書の発行などのオペレーションをシステム上で行えるようにする。
さらに、国際海上コンテナのみならずトラック、鉄道、航空、船舶といった輸送モードも取り込み、空きスペースの可視化を行うことで、需要家とマッチングさせ、物流の生産性向上に



ダイヤモンド・オンラインと カーゴニュースがおくる 経営層に向けた「物流情報プラットフォーム」



いよいよ始動

<http://diamond.jp/list/sp-logistics/>

経営 物流 検索

貢献する。マッチングにはAIの活用も視野に入れていく。

トレードシフトは米サンフランシスコに本拠を置き、14年に日本人としてトレードシフトジャパンを設立。同社はクラウド型のビジネスソーシャルプラットフォーム「Tradeshift」の国内でのサービス提供を担当している。

「Tradeshift」に参加した企業は新規取引先の開拓や見積・注文・請求などの商取引プロセスをオンラインで実施することができ、これらの基本的な機能は無償で活用可能。また、機能拡張するアプリを使い、より複雑なビジネス課題の解決や業務改革も行える。

グローバルでは80万ユーザーを有し、物流業界では既に近鉄エクスプレスやキューネ・アン

物流データ

東京団地倉庫概況(2016年7月～9月)

東京団地倉庫(高橋久夫社長)はこのほど、2016年7～9月の保管貨物動向調査の概況をまとめた。入庫は25万1122トで前年同期比6・0%減となり、出庫は26万188トで同5・0%減となった。期末保管残高は19万1635トで同4・1%減となった。回転率は41・3%で前年同期比は2・4ポイント低下した。

貨物別にみると入庫は繊維工業品、雑品が増加し、金属製品・機械、雑工業品が減少した。出庫は雑品、繊維工業品が増加し、金属製品・機械、雑工業品が減少した。期末残高は金属が増加し、雑工業品、金属製品・機械が減少した。

前期(4～6月)との比較では入庫は1万3300トの減少(5・0%減)、出庫はほぼ横ばい、期末残高は9000トの減少(4・5%減)となり、回転率は1・2ポイント低下した。

詳細は同社HPに掲載されている。

お詫び

本紙4522号36ページ掲載の「物流データ東京団地倉庫概況」の記事中

東京団地倉庫 16年7月～9月の保管貨物動向

	平和島	板橋	足立	葛西	合計
入庫高	119,089	34,970	49,691	47,372	251,122
	7.6	3.2	▲14.8	▲26.4	▲6.0
出庫高	122,363	35,862	53,210	48,753	260,188
	10.7	8.0	▲6.3	▲33.6	▲5.0
保管残高	59,202	40,725	44,173	47,535	191,635
	9.9	0.2	▲14.2	▲11.6	▲4.1
期中回転率(%)	65.8	28.6	37.9	32.7	41.3
面積(m ²)	176,000	97,000	96,000	118,000	487,000
海上コンテナ入庫	66,771	10,354	12,642	18,041	107,808
海上コンテナ出庫	24,697	0	50	801	25,548
JRコンテナ入庫	2,114	394	2,207	25	4,740
JRコンテナ出庫	640	0	115	200	955
就業人員(人)	1,425	263	250	929	2,867

単位:トン

各数値下段=前年同期比(%)

で本文と表とに不一致がありました。お詫びして今号に再掲載いたします。

ド・ナーゲル、DHL、UPSなども同プラットフォームを活用しており、トレードシフトジャパンでは物流に特化したアプリもリリースする予定だ。

訂正

11月15日付2ページのセンコーの記事中、「フルトレーラはセミトレーラの2倍」とあるのは「フルトレーラは10ト車の2倍」の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。

人事異動

ヤマトダイアログ&メディア(11月16日)▽
常務執行役員、取締役営業推進部長渡邊賢治